

2023年5月12日

各位

会社名 株式会社ダイキアクシス  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 大亀 裕  
 (コード番号：4245 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役 副社長 CFO・CCO 堀淵 昭洋  
 (TEL：089-927-2222)

## プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更） 及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

株式会社ダイキアクシス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕）は、2021年12月17日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を、2023年3月24日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」を公表し、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組を進めてまいりました。

今般、2023年4月1日に施行された東京証券取引所（以下、「東証」といいます。）による規則改正に伴い社内で協議を重ねた結果、2023年5月12日付の取締役会において、現在の「プライム市場」から「スタンダード市場」へと市場区分を変更する選択申請を行うことを決議し、東証へ申請いたしました。

なお、スタンダード市場への選択理由およびスタンダード市場の上場維持基準への適合状況については下記のとおりです。

### 記

#### 1. 当社のプライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況について、2023年3月24日付で「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」として公表しておりますが、その推移を含め、下表のとおりです。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均 売買代金
当社の適合 状況および その推移	2021年6月30日時点 (移行基準日)※1	6,106人	68,433単位	61億円	53.5%	66,227千円
	2022年12月31日時点 ※1	5,531人	76,683単位	53億円	56.0%	22,021千円
プライム市場上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%	20,000千円
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2025年12月	—	—
プライム市場上場維持基準 への適合状況		適合	適合	不適合	適合	適合

※1 当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価

当社は、2021年12月17日公表の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において、プライム市場の上場維持基準適合に向けた取り組みの基本方針を定め、企業価値の向上、株式市場におけるプレゼンス向上に取り組んでまいりました。

取組の実施状況につきましては2023年3月24日公表の「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」\*1に記載のとおりであります。当社が不適合となっております「流通株式時価総額」の基準（以下、「当該基準」）につきましては、「1. 当社のプライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間」に記載のとおり流通株式数は増加したものの、当該基準算定において東証が算出した3ヶ月平均株価は2021年6月30日の移行基準日時点では897円であったものが2022年12月31日現在では696円となり、この影響によって当該基準に適合していない状況であります。

\*1 2023年3月24日公表「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/8527c6be/a14a/47fe/bd0e/45b94927dfbf/140120230324535776.pdf>

## 3. スタンダード市場の選択理由

当社は、「2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価」の状況を踏まえ、当該基準を満たしていないままプライム市場への上場を維持した場合に起こりうる経過措置終了後の上場廃止リスクの回避、また、当社の経営環境と既存株主様の利益を総合的に判断した結果、スタンダード市場への市場区分の変更を決議いたしました。

なお、この決定による中期経営計画「PROTECT×CHANGE」の変更はいたしません。引き続き成長戦略を推し進めるとともに、今年中に公表を予定しております統合報告書における非財務情報の開示やガバナンスについては今後もプライム市場上場企業に求められる水準を維持・拡充してまいります。

## 4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

2022年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準で適合していなかった流通株式時価総額について、スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりであり、前期末半期（2022年7月～12月）の月平均売買高基準も10単位以上あることから、スタンダード市場の全ての上場維持基準に適合しております。

なお、今後、上場維持基準の判定基準日時点においてスタンダード市場の上場維持基準の全てに適合している場合には「スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画」の開示は不要となりますので、適合計画の進捗についての開示は行いません。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況	2022年12月31日時点	5,531人	76,683単位	53億円	56.0%	22,021千円
スタンダード市場上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%	—

今後につきましても、コーポレートスローガンである「PROTECT×CHANGE」をグループ従業員に浸透させることで「守るべきものは守り、変えるべきものは変える」という精神を共有し、柔軟かつ強固な事業基盤を形成してまいります。そして、「環境を守る。未来を変える。」という当社グループのミッションを果たし続けることで、将来的には再度プライム市場への市場区分の変更を目指してまいります。

以 上